



閑居不善は  
華族社會が奉家

# 宗秩寮會議で不良華族處分

筆頭は吉井伯夫人

や金満家が國家に於て宗秩寮審議會が開かれ、非常時を他所にした。この嚴肅なる審議會には黒田家、栗野屋、院長、入江皇太后大夫、大谷官内次官、漢田參事官、近衛公、波多伯、波多田の各審議官に當り、吉井伯夫婦の手を延すに至つて、米、里見等多數文士の賭博行為に檢舉の手を延すに至つて、俄然問題は重大化し、十二月に到り、審議會招集決定を見るところ、即ち有閑マダムの筆頭吉井男爵事件は端末を以て、花木學習院長成俊が講師長席につき、ホークに手入れをし、ダンス教師を中心と醜態を盡くす有閑マダムの行狀を察して社會を驚駭せしめ、更に閑階級との取巻き文士久米、里見等多數文士の賭博行為に檢舉の手を延すに至つて、俄然問題は重大化し、十二月に到り、

## 開會



警察官の告白

### にかけた話

警察署の  
お役目は何?

第三話

調べが頗りたいといふので

前に、或る日一人の老人が現

はれた。見してどこかの会

社の守衛と云つたタイプであ

る。

「誠に恐れ入りますが、娘の

身で申上げましては便で御

調査申

上げたいのです」

と云ふ所は、如何にも實直

さうで、相當に苦勞もして來

た老人、果してN映畫撮影所

の門衛をしてゐる今年六十歳

玉井春吉と名乗つた。

「相談したいと云ふのは、お

前さんの娘さんの事かね」

この老人の娘であれば、普

通にして三十過ぎ、不良少年

の種外と思つたらしい主任

の方でござりますので

「じくつになるかね」

と聞く

「はア、私の一人娘で、今年

十八になりましたが、何しろ年

老いの一人娘でござります

は、

「さうか、でどんな理由でか

ね……」

「實は、丸の内の帝國汽船會

社(假名)の給仕に出して居り

ますのですが、どうも近頃

様子が少しだけ……」

「そんな馬鹿な事があるか、

ふんぬいの札のかつた部室

へ連れて来られたのも、割合

ので」

と老人の語り出す所によ

る、その翌日、私が主任の命

令で、その娘、玉井妙子と云

ふのを、會社には知れないや

つければされたりして居る

人で接してきてゐるので、良

家の娘の様に、不良少年係と云

ふるが、親の怠けばかりでは

ない美人だつた

れば云はないで、警察には又

使はれて悪い事は知らさない

が、金を何

と預いた

満洲事變突發當時、國民

の血は湧き立つて居た時であ

る。そこで、恰して會社の方

の私は居はれ叫ぶと、主任

に知れて悪い事は知らさない

で、さうした金を何に使つて

居たかから、自分で儲けた金

に使つたが、急に目頭が

痛くなつて來たのを私はハッ

キリ見た。

「僕は、それで、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申

りまして」

「それ、さうだな、よし、

さうで、相當に苦勞もして來

つ聞いて見てやう」

と云ふ所は、如何にも實直

勤めの方に隣りない様にして一

けに、若しや不良青年などに

つけまはされたりして居る

のちやないかと、色々心配があ

ることにつきまして、舞相談申





